

2019年7月31日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス  
 コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 早河 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 小林 直治  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6406-1115

(百万円未満切捨)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	71,649	0.4	2,592	0.3	4,183	7.2	2,521	1.4
2019年3月期第1四半期	71,948	3.7	2,585	55.8	3,903	44.0	2,486	48.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 5,516百万円 ( 17.4%) 2019年3月期第1四半期 6,674百万円 ( 4.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	23.53	
2019年3月期第1四半期	23.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	453,922	356,406	77.6
2019年3月期	452,000	353,757	77.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 352,107百万円 2019年3月期 349,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		30.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金30円00銭には、記念配当10円00銭が含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	303,000	0.4	13,000	19.6	15,000	21.5	10,000	22.4	93.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料] P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	108,529,000 株	2019年3月期	108,529,000 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	1,367,273 株	2019年3月期	1,367,273 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	107,161,727 株	2019年3月期1Q	107,163,576 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては[添付資料] P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、2019年7月31日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が続きました。テレビ広告市況におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回るなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような経済状況のなか、当第1四半期連結累計期間の売上高は716億4千9百万円（前年同期比△0.4%）、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が690億5千7百万円（同△0.4%）となりました結果、営業利益は25億9千2百万円（同+0.3%）となりました。また、経常利益は41億8千3百万円（同+7.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億2千1百万円（同+1.4%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①テレビ放送事業

タイム収入は、アドバイザーの宣伝活動において柔軟性と効率性を重視する動きから、引き続き固定費削減傾向がみられ、レギュラー番組のセールスでは減収となりました。単発番組につきましては、開局60周年記念5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」、「世界フィギュアスケート国別対抗戦2019」などがあったものの、前年同期の「2018FIFAワールドカップロシア」などの反動減により、減収となりました。以上の結果、タイム収入合計は207億7千7百万円（前年同期比△6.7%）となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期を下回ったことなどから減収となりました。業種別では、「金融・保険」「官公庁・団体」などが好調な一方で、「飲料・嗜好品」「交通・レジャー」「化粧品・トイレットリー」などは減収となりました。以上の結果、スポット収入は228億6千9百万円（同△6.3%）となりました。

また、BS・CS収入は64億7千万円（同△1.7%）、番組販売収入は32億1千4百万円（同+2.9%）、その他収入は50億4千8百万円（同+0.6%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は583億8千万円（同△4.9%）、営業費用は570億8千5百万円（同△4.2%）となりました結果、営業利益は12億9千4百万円（同△28.9%）となりました。

#### ②音楽出版事業

「ケツメイシ」が全国各地でコンサートツアーを展開したことなどにより、音楽出版事業の売上高は40億2千8百万円（前年同期比+139.4%）、営業費用は35億6千1百万円（同+121.5%）となりました結果、営業利益は4億6千7百万円（同+525.7%）となりました。

#### ③その他事業

動画配信事業の拡大に伴いインターネット事業が増収となったことなどにより、その他事業の売上高は120億6千万円（前年同期比+3.3%）、営業費用は111億5千7百万円（同+2.2%）となりました結果、営業利益は9億2百万円（同+18.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比19億2千1百万円増の4,539億2千2百万円となりました。これは、現金及び預金が35億9千2百万円減少したものの、投資有価証券が50億4千7百万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比7億2千7百万円減の975億1千5百万円となりました。また、純資産合計は、前連結会計年度末比26億4千9百万円増の3,564億6百万円となりました。この結果、自己資本比率は77.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,908	26,315
受取手形及び売掛金	78,534	75,192
有価証券	44,400	44,102
たな卸資産	10,571	11,230
その他	12,422	16,463
貸倒引当金	△73	△70
流動資産合計	175,762	173,234
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	100,642	99,906
有形固定資産合計	100,642	99,906
無形固定資産		
その他	6,373	6,443
無形固定資産合計	6,373	6,443
投資その他の資産		
投資有価証券	148,176	153,223
その他	21,223	21,293
貸倒引当金	△178	△178
投資その他の資産合計	169,220	174,338
固定資産合計	276,237	280,688
資産合計	452,000	453,922
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,149	9,024
その他	53,188	51,419
流動負債合計	62,337	60,444
固定負債		
退職給付に係る負債	17,596	17,596
その他	18,309	19,474
固定負債合計	35,905	37,071
負債合計	98,243	97,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,642	36,642
資本剰余金	70,226	70,226
利益剰余金	212,447	211,745
自己株式	△2,854	△2,854
株主資本合計	316,462	315,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,484	40,504
繰延ヘッジ損益	580	420
為替換算調整勘定	△57	△57
退職給付に係る調整累計額	△4,640	△4,521
その他の包括利益累計額合計	33,367	36,346
非支配株主持分	3,926	4,299
純資産合計	353,757	356,406
負債純資産合計	452,000	453,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	71,948	71,649
売上原価	53,432	53,460
売上総利益	18,516	18,189
販売費及び一般管理費	15,931	15,597
営業利益	2,585	2,592
営業外収益		
受取配当金	608	778
持分法による投資利益	566	665
その他	162	184
営業外収益合計	1,337	1,628
営業外費用		
固定資産廃棄損	3	17
為替差損	-	12
その他	15	7
営業外費用合計	18	37
経常利益	3,903	4,183
特別損失		
投資有価証券評価損	-	171
特別損失合計	-	171
税金等調整前四半期純利益	3,903	4,011
法人税等	1,380	1,473
四半期純利益	2,522	2,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,486	2,521



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,522	2,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,797	3,063
繰延ヘッジ損益	173	△160
為替換算調整勘定	△38	△0
退職給付に係る調整額	105	118
持分法適用会社に対する持分相当額	113	△43
その他の包括利益合計	4,151	2,978
四半期包括利益	6,674	5,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,638	5,500
非支配株主に係る四半期包括利益	36	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	60,750	1,622	9,575	71,948	—	71,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	650	59	2,097	2,808	△2,808	—
計	61,400	1,682	11,673	74,756	△2,808	71,948
セグメント利益	1,820	74	760	2,655	△69	2,585

(注) 1. セグメント利益の調整額△69百万円は、セグメント間取引消去△16百万円、当社における子会社からの収入538百万円及び全社費用△591百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,818	3,970	9,860	71,649	—	71,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	561	58	2,200	2,820	△2,820	—
計	58,380	4,028	12,060	74,469	△2,820	71,649
セグメント利益	1,294	467	902	2,664	△72	2,592

(注) 1. セグメント利益の調整額△72百万円は、セグメント間取引消去△19百万円、当社における子会社からの収入535百万円及び全社費用△588百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。